

ハマフエフキの中間育成

井上 顕*・金城清昭・鳩間 用一

1. 目的

平成16年度は養殖用の大型種苗(全長50mm)6.5万尾を生産する。

2. 材料と方法

中間育成は、種苗生産回次1~5の種苗16.5万尾を用いた。飼育には、屋内50kL円形水槽を4面使用した。

給餌は各水槽に自動給餌機2台を設置し、配合飼料、中国産冷凍コペポダーを給餌した。給餌量は稚魚の魚体重を適宜測定し、一日あたり魚体重の3~15%量を給餌した。

底掃除は毎日行い、回収した斃死魚の計数を行うことで、生残数の推定を行った。

出荷時には手作業により全長50mm以下の個体と骨

格異常魚の選別を行い、ベルトコンベアー式のフィッシュカウンターを用いて計数を行った。

3. 結果

平成15年度の中間育成結果を表1に示した。

中間育成の生残率は、3回次を除いて95.2~100%と高い結果となった。3回次は、日齢72より滑走細菌症と思われる症状を観察し、数日間斃死魚が続いたため、生残率68.7%と低くなった。最終取り上げ尾数は148,757尾であった(表1)。

養殖用大型種苗の要望数は、最終的に3.2万尾であり、すべてを満たすことができた。残りの種苗のうち、9.3万尾を放流用として出荷し、2.3万尾を移送実験用とした。

表1ハマフエフキの中間育成結果

種苗生産	生産回次	(回)	1	2	3	4	5	合計
	生産水槽	(水槽名)	C-3	C-5	C-1	C-1	50t-1	
	取上平均全長	(mm)	25.3	30.66	31.63	31.63	26.4	
中間育成	生産回次	(回)	1	2	3	4	5	
	開始日齢	(日)	61	63	59	59	50	
	開始年月日	(月日)	2003/5/3	2003/5/13	2003/5/20	2003/5/20	2003/7/3	
	生産水槽	(水槽名)	F-1	F-2	F-7	F-2	F-1	
	水槽規模	(kL)	50	50	50	50	50	
	稚魚の收容数	(尾)	24,126	44,599	44,457	39,277	12,485	164,944
	開始密度	(尾/kL)	483	892	889	786	250	
	飼育日数	(日)	24	15	22	22	34	
	取上年月日	(月日)	2003/5/27	2003/5/28	2003/6/11	2003/6/11	2003/8/6	
	取上尾数	(尾)	24,006	44,325	30,557	37,389	12,480	148,757
	生残率	(%)	99.5	99.4	68.7	95.2	100.0	90.2%
	取上平均全長	(mm)	54.1	47.9	55.52	57.5	75.0	
	飼育水温	(°C)	25.3~26.0	24.1~24.9	24.3~26.1	24.2~26.3	28.1~30.2	
備考			養殖用配布 放流用配布	放流用配布	加温 養殖用配布 移送実験用	加温 養殖用配布 放流用配布	親魚用	